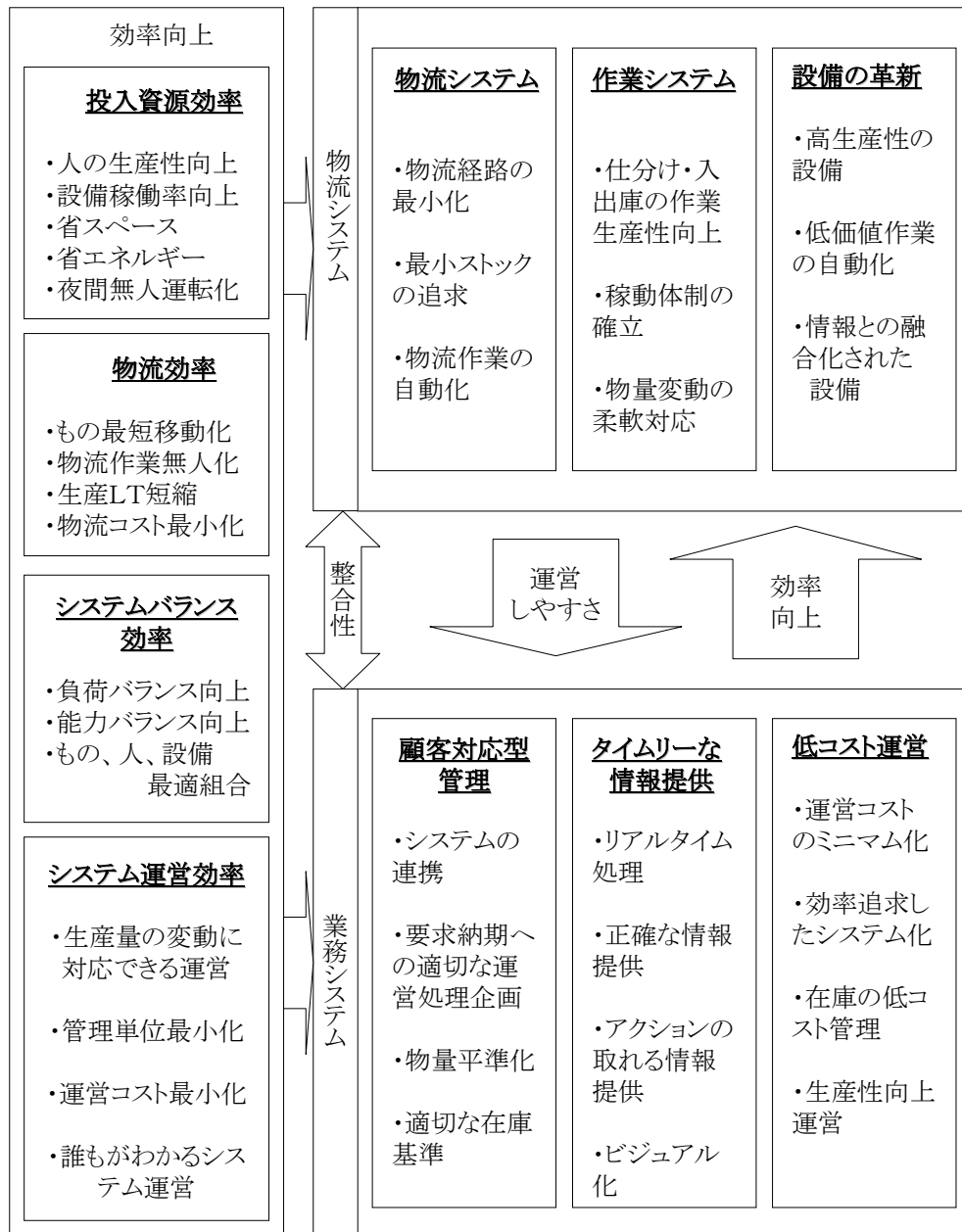
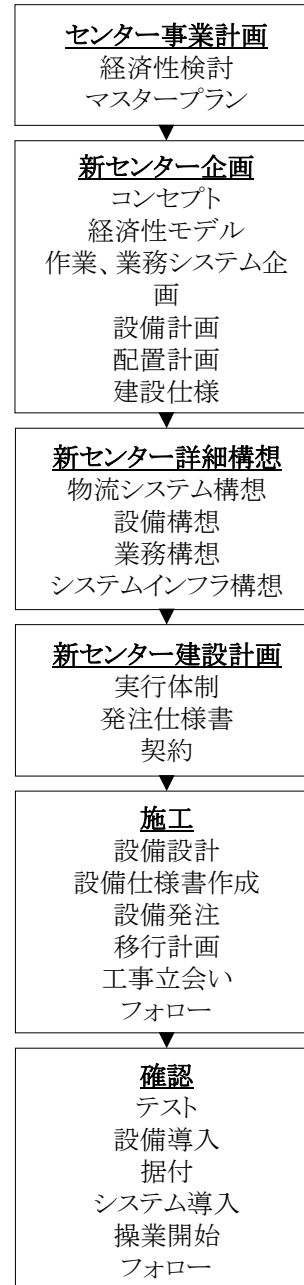


物流センター企画の検討視点



展開ステップ



新規の物流センターを設置すると長い間活用することになるため、競合が追いつけないような改革案を盛り込んで企画検討するとともに、柔軟に変動対応できるような工夫も重要でしょう。

物流センターの企画においては、効率的なモノの保管、移動、ピッキング、仕分け、入出庫等を人、設備、システムを組み合わせて、全体最適に企画することが求められます。その際には、物流サービスレベルや物流コストを目標において、その目標をいかにして実現するかというデザインアプローチで企画することが望ましいでしょう。例えば、物流コストに関して、労務費、設備費のみならず物流センターの建物の費用、各種ユーティリティの費用にいたるまで、コストの割付をいたうえで、その範囲の中で実現できるように目標管理を行いつつ、物流センターの企画を立案することが経済性の面から求められます。

一方で施設を建設する際に建築基準法、消防法、道路法、道路法、駐車場法、宅地造成等規制法、倉庫業法、港湾法、騒音規制法など関連する法令及び都道府県条例があるので、それにしたがって許認可等を受けることが求められます。